

南京大虐殺・靖国に抗議した

香港人弾圧を許すな！

5.9 集会

於靖国神社的抗議行動乃正當權利！

東京地方裁判所必須立即停止拘留 2 名抗議人士！



とき ● 5月9日(木) 18時45分(18時30分開場)

ところ ● 文京シビックセンター 4F・シルバーホール
(地下鉄丸の内線/南北線・後楽園駅 3分)

講演 ● 「追及され続ける日本の侵略責任」
…田中 宏 (一橋大学名誉教授)

報告 ● 裁判報告…一瀬敬一郎 (弁護団)
「なぜ香港人が靖国で抗議したのか」
…和仁廉夫 (ジャーナリスト)

*資料代 500円

昨年12月12日、南京大虐殺・日本軍国主義に抗議して靖国神社で逮捕・起訴された郭紹傑(グオ・シウギ)さんと嚴敏華(イン・マンワ)さんに対する刑事裁判が東京地裁で行われています。

2人は、「正当な理由なく靖国神社の敷地内に侵入した」建造物侵入の罪名で起訴されています。しかしそこ(靖国神社外苑)は、日常誰でも足を踏み入れることのできる場所です。まったく非暴力の郭さんの表現行為と、その行動をビデオで記録してただけの嚴さんの行動が「犯罪」とされ、度重なる弁護団による保釈申請も却下され続けて、2人の勾留はすでに4か月近くの長期にわたっています。

これまでも、内外のさまざまな人びとによる靖国神社への抗議は行われており、今回のような逮捕・起訴自体がきわめて異例な対応です。アジアの民衆の告発

など一切耳を貸さず、公然と批判の声を上げることは許さない、という安倍政権の強権的な態度が反映した、まさに「見せしめ」弾圧というほかありません。

戦後、日本政府は「南京大虐殺」や「慰安婦問題」など、日本の侵略や戦争犯罪の歴史的事実を一貫して矮小化し、実質的に否定し続けてきました。歴史修正主義の潮流は、とりわけ安倍政権の登場によっていっそう強まっています。今回の靖国神社での抗議行動は、こうした現在の日本の、未決の戦争・戦後責任を鋭く問うものでした。

日本でこの裁判を支援している私たちは、彼らの行動の歴史的な意味合いをとらえかえず上で、日本と中国・香港の歴史などについても認識を深めていく必要があると考え、このたびの集会を企画しました。

集会への参加と、支援協力を是非ともお願いします！

12.12 靖国抗議見せしめ弾圧を許さない会

連絡先：〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル5階 救援連絡センター 気付

mail: miseshime@protonmail.com http://miseshime.zhizhi.net

カンパの送り先：郵便振替 00100-3-105440 救援連絡センター *「12・12 靖国抗議弾圧救援」とご指定下さい。